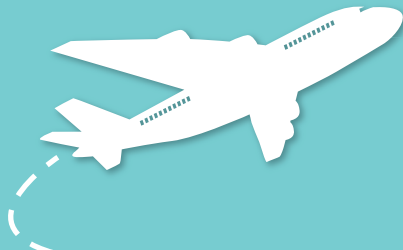
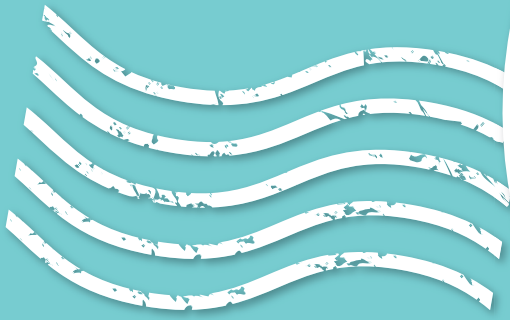




法政大学

経済学部

学部独自の留学制度
スタディ・アブロード
(SA)ガイドブック



THE UNITED STATES OF AMERICA
UNIVERSITY OF CALIFORNIA, DAVIS



CANADA
BROCK UNIVERSITY



UNITED KINGDOM
THE UNIVERSITY OF SHEFFIELD

学部長から皆さんへ

FROM THE DEAN



人生の成長への新たな一歩に向けて

法政大学はスーパーグローバル大学（SGU）に選ばれ、グローバル化を推進していますが、その中でも経済学部は、国際経済学科を中心に英語教育を重視しており、その一環として、SAプログラム（4ヶ月間の海外実習を中心とした留学プログラム）を設けています。

…と、こう書くと、4ヶ月で英語がペラペラになるという安易な気持ちや、逆に4ヶ月で何かすごい成果を出さなければならないという焦りの気持ちを持つ人もいられるかもしれません。SAプログラムでの留学期間は4ヶ月ですが、現地の実習だけではなく、事前事後の学習もセットとなっています。それらにしっかり取り組み、プログラム修了後も英語にふれあう、他の国の人たちとも交流する、国際情勢や異文化に興味を持つ、そのきっかけとしてください。

私自身は、学生時代には留学経験はありません。他大学での助手時代、初めての留学（アメリカ北東部、ロチェスター大学）を経験しました。3週間の留学で、最初はこの短期間で何ができるのだろう…とも思いましたが、先輩から「これを、もっと長い留学のきっかけにしたらよい」ということばをいただき、背中を押されての留学でした。で、初めての海外。いきなり飛行機が大幅に遅れて夜中に現地に到着。しかも、その日の真夜中、数十年ぶりの大停電になり、厳冬のなか、暖房も灯りも来ないことがありました。でも、大学の寮ということで最優先に停電復帰し、すぐに受入れの教授と会うことができました。

それにしても、英語の辛さに加えて、コミュニケーションが厳しい。大学の学食で（セットメニューなしの）サンドイッチを注文するのに「何を入れる？」と聞かれ、“just ham”（野菜の入らないハムサンドを食べたかった）と言ったところ、バターやマヨネーズいっさいなしのハムとパンが出てきてびっくり。今となっては笑い話ですが、こうした小さなことが溜まるとかなりストレスで、当時はだいぶ落ち込みました。自分が当たり前と思っていたこと（たとえば、ハムサンドイッチにはバターぐらいつけるという思い込み）が、さまざまに異なることを、ひとつひとつ学んだ3週間でした。そして、それがうまく通じたときは本当にうれしく感じるものです。研究面では、教授たちから親切なコメントをいただき、そのとき取り組んでいた論文は無事に専門雑誌に掲載されることになりました。また、留学最後の2日間、ワシントンD.C.での観光もとても楽しい経験でした。

その後法政に赴任してから、長期留学や海外学会の機会をいろいろといただきました。初めての留学のときと同様、いや、それよりもはるかにいろいろな事態が起こりました。その中で、見知らぬ人たちも含めて多くの方々に助けていただいたこと、それが本当にありがたく、何かの機会には自分も人の手助けを行いたい、という気持ちを強く持つようになりました。ちなみに、複数の国でのクリスマスを過ごしたことも素敵な思い出です。そして、若いときにこうした機会を得られる皆さんを本当にうらやましく感じます。

SAプログラムは単なる「英語の学習の場」とは違います。世界を知るということは、自分を知るということでもあります。ぜひ積極的に取り組んでください。それから経済学部では、英語学位プログラム「グローバル経済学・社会科学インスティテュート（IGESS）」を設け、留学生や帰国子女を受け入れています。そのような学生とも積極的に交流してください。そうした取り組みが皆さんの視野を広げ、「世界のどこでも生き抜く力」を創り出すものと確信しています。もちろん、楽しむことも大切に！

このプログラムへの参加を、皆さんの大きな飛躍に向けての第一歩としていただけたら幸いです。

2021年4月 法政大学経済学部長 ひろかわ 廣川 みどり



【1】スタディ・アブロード (SA) プログラム

OVERVIEW OF THE STUDY ABROAD PROGRAM

経済学部のスタディ・アブロード (SA) プログラムとは、学生が2年次の春学期に、アメリカのカリフォルニア大学デイビス校国際トレーニング & 教育センター、カナダのブロック大学英語教育センター、イギリスのシェフィールド大学英語教育センターで開講される英語の授業を履修する選択制のプログラムです。

1. スタディ・アブロード (SA) の目的

経済学部 SA プログラムは、英語の集中的な学習によって実用能力に磨きをかけ、英語を通して留学先の文化、社会、経済、ビジネス等の講義科目を学び、さらにホームステイ (※) やキャンパスライフなどの日常生活経験によって、異文化理解を深めることを目指すプログラムです。留学先で出会う外国人の教員や友人たちとの交流で、国際経済人としてのマナーとルールを身につけ、自立の精神を養い、グローバル化の著しい世界に向かって、日本の立場から説得力のあるメッセージを発信する能力を養うことが期待されます。そこで学んだことが就職や進学に結びつき、将来の可能性を大きく広げるものであることを願ってやみません。若い時代の留学で得られるみずみずしい生活体験、学習体験は、生涯にわたって大きな影響を持つものです。直接的な異文化体験、カルチャーショックなども、それらを積極的に捉え大切に反芻することによって精神の財産となり、物事を真に批判的に見る目が養われ、日本の文化や社会、経済あるいは人間のあり方をより客観的に見られるように、また評価し直す契機ともなるでしょう。SA が参加学生の人間の成長を促す貴重な心の糧となることも、もう一つの目的なのです。

(※) SA プログラムは、原則ホームステイでの滞在です。

2. プログラム概要

SA の授業はいずれも留学先大学の外国人講師により英語で行われます。授業は集中的な英語の学習プログラムに、その国の経済・ビジネス・文化・社会等の講義を折りまぜて構成されます。

- 留学時期：2年次春学期の約4ヶ月間
- 留学資格：
 - (a) 2年次に進級する見込みであること
 - (b) 健康であること
 - (c) 1年次終了までに1年次配当必修科目（外国語・入門ゼミ・スポーツ総合・専門必修）の単位を修得していること（未修得の場合は原則留学できません）。
- 募集人数：60～100名程度
（国際経済学科40～60名、経済学科・現代ビジネス学科20～40名）
- 希望者が予定している人数を超える場合は、留学先大学との交渉により、留学者数を増やすこともあります。（選抜方法に関しては、【4】応募時期・選抜方法、【5】SA 留学先大学の決定についてを参照）
- その他注意事項：
 - ① 希望者が予定している人数より極端に少ない場合（目安として、1大学の留学者数が15人未満の場合）は、留学先大学を減らす可能性があります。
 - ② ガイダンス、留学準備講座の出席率が著しく低く、且つ留学意欲の低い学生については留学を取り消す場合があります。
 また、SA 留学中に生活面・留学態度において、学生の本分を逸脱する行為があった時は本人より状況を確認したうえで、SA 留学を中止し、強制帰国となる可能性があります。その際、留学費用の返還は一切行いません。

3. 単位認定

留学先で修得した単位は、本学の単位に換算して16単位を上限に認定します。また留学準備講座・ガイダンス等は、1年次のSA事前指導として1単位（専門・選択）、SA研究レポートの評価は、2年次のSA事後指導として1単位（専門・選択）の成績評価の対象となります。

※ 成績不良、出席率の悪い学生には単位認定は出来ません。

帰国後の単位認定について

次の科目は帰国後、認定可能な経済学部の科目です。科目は自由に組み合わせて申請できます。

外国語科目

〈国際経済学科〉

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・英語必修科目（各1単位） Reading and Interaction 1A・B Writing and Interaction 1A・B Listening and Presentation 1A・B Reading and Interaction 2A・B Writing and Interaction 2A・B Listening and Presentation 2A・B | <ul style="list-style-type: none"> ・英語選択必修科目（各1単位、上限2単位） Academic Presentation and Interaction A・B Academic Reading and Interaction A・B Academic Writing and Interaction A・B Academic Listening and Interaction A・B Modern Novel A・B TOEFL and IELTS Preparation A・B TOEIC Preparation A・B Media English A・B |
|---|---|

〈経済学科〉〈現代ビジネス学科〉

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・英語必修科目（各1単位） Reading and Interaction A・B Writing and Interaction A・B Listening and Presentation A・B | <ul style="list-style-type: none"> ・英語選択科目（各1単位、上限2単位） Academic Presentation and Interaction A・B Academic Reading and Interaction A・B Academic Writing and Interaction A・B Academic Listening and Interaction A・B Modern Novel A・B TOEFL and IELTS Preparation A・B TOEIC Preparation A・B Media English A・B |
|---|---|

総合教育科目

スタディ・アブロード（総合）Ⅰ～Ⅲ（各2単位）

専門教育科目

スタディ・アブロード（専門）Ⅰ～Ⅲ（各2単位）（選択科目）

4. プログラムの運営について

経済学部SAプログラムは、法政大学と留学先大学との間で締結されている協定に基づき、経済学部が留学先大学（付属機関）と直接やり取りの上、入学手続きのサポートを行っています。一方、ビザ取得や航空券手配、海外旅行保険の申込等の各種渡航サポート及び出発前の現地危機管理情報の入手については、法政大学が国内旅行代理店に業務委託する形で運営されます。

そのため、SAプログラムの留学先大学（付属機関）における授業料やホームステイ費等の現地費用については、すべて留学先大学からの請求に基づき参加学生に請求され、本学における手数料は一切かかりません。ただし、旅行代理店への業務委託料は、参加者が負担する航空券等旅行代金の中に一部含まれます。

従いまして、SAプログラムに申込み後、参加辞退が発生する場合は、留学先大学ならびに旅行代理店の規程にもとづき、キャンセル料が申込者本人に対して請求されることとなります。

⑤ 留学準備講座及び SA ガイダンス (1 年次秋学期)

SA 出発前の 1 年次に留学準備講座及びガイダンスを実施します。留学準備講座では、各留学先に分かれて、各国出身のネイティブ講師による英語の授業を受講します。ガイダンスでは、渡航手続き説明など留学までのステップをサポートしていきます。どちらも出席は義務です。出席状況が思わしくない学生については、留学が取り消されることがあります。

⑥ 渡航・旅券に関する諸説明、留学先入学許可申請書等の記入指導

留学先決定後、渡航・旅券について旅行代理店による説明や、各大学の入学書類とホームステイ申込書の記入についての説明を行います。

⑦ 帰国報告会・帰国生 SA 研究レポート優秀者による英語プレゼンテーション (1 年次 10 月頃)

SA 帰国生の帰国報告会と SA 研究レポート優秀者による英語プレゼンテーションに参加します。先輩の SA の成果に触れて、モチベーションを高めてください。

※ 2021 年度は派遣中止に伴い、帰国生がいないため実施いたしません。

⑧ TOEIC®-IP 試験 (1 年次・2 年次 10 月)

出発前と帰国後に TOEIC®-IP を受験し、プログラム参加によりどれだけ英語力が向上したかを測ります。

⑨ ビザ取得方法説明 (1 年次 11 月)

ビザ取得のためには各種証明書(英文残高証明書など)を各自で用意することになります。国によって必要な書類は異なり、準備に時間がかかる場合がありますので各自注意が必要です。提出時期、提出方法等についてはガイダンスを通じて指示します。

⑩ ビザ取得 (1 年次 11 ~ 2 月)

各自でビザを取得します(ガイダンスにて取得方法をご案内します)。

⑪ SA 費用振込 (1 年次 2 ~ 3 月 (予定))

SA 費用(渡航費、ビザ申請料・保険料を含む)は 1 年次の 2 ~ 3 月頃に通知・振込みを予定しています。

⑫ 出国< SA 開始 > (1 年次 3 月 ~ 2 年次 4 月)

※ 出国日は留学先によって異なります。

現地学校のプログラムにあわせ、例年 1 年次の 3 月から、留学先大学ごとにまとめて出国します。なお、SA プログラムは法政大学の授業の一環であり、単独での出国・帰国は認められません。

⑬ 中間報告書(月次)の提出

毎月、現地での学習状況や SA 研究レポートの作成状況についての報告書をメールで提出します。

⑭ SA 研究レポート提出 (2 年次 7 ~ 9 月)

SA の集大成として、帰国後に SA 研究レポートを提出します。このレポート提出を含めて、SA の単位が認定されます。

⑮ 帰国報告会・帰国生 SA 研究レポート優秀者によるプレゼンテーション (2 年次 10 月頃)

大学ごとにまとめて帰国した後、英語プレゼンテーションを行います。SA 研究レポート優秀者は、学生研究報告大会にてプレゼンテーションを行い、現地で学んできた学習成果・生活等を発表します。



[3] SA 費用について

EXPENSES

(1) 費用内訳

次年度の費用は為替変動や留学先大学の授業料の変更等で増減する可能性があります。ご了承ください。

なお、留学期間中の法政大学への学費の減免はありません。

以下の費用は、経済学部 2019 年度留学生（現 4 年生）の SA 費用です。

国	大学	授業料・宿泊費	留学準備講座	渡航・ビザ	保険	合計(円)
アメリカ	UC デイビス校	1,263,569 (US \$ 11,370)	10,000	252,230	44,740	1,570,539
カナダ	ブロック大学	849,426 (CA\$10,105)	10,000	229,970	44,740	1,134,136
イギリス	シェフィールド大学	1,117,394 (£ 7,748.384)	10,000	179,260	44,740	1,351,394

<外貨の日本円への換算> SA 費用は以下のレートにて算出しています。

国	換算レート
アメリカ	授業料 US \$ 1 = 110.94 円、宿泊費 US \$ 1 = 111.44 円 (2019 年 2 月 15 日時点)
カナダ	CA \$ 1 = 84.06 円 (2019 年 2 月 8 日時点)
イギリス	£ 1 = 144.21 円 (2019 年 2 月 8 日時点)

(2) スケジュール、支払方法

旅行代理店へのサポート費用（業務委託料）、往復の渡航費、現地授業料、宿泊費、留学準備講座費用、ビザ取得費用、海外旅行保険料を含んだ費用は 1 年次の 2～3 月頃に保証人宛てに提示し、お支払い頂く予定です。なお、支払方法についての詳細は、後日お知らせします。

(3) 「経済学部 SA 奨学金」について（給付）

経済学部独自の奨学金制度です。旅費総額（現地授業料、宿泊費含む）の 30%程度（約 30～45 万円）を 42 名程度に支給します。なお、募集に関しては SA への参加決定者を対象に 1 年次の 10 月に応募受付を行います。

(4) キャンセルについて

SA 費用のうち、参加申し込み後の 10 月以降は、留学前でも旅行代理店へのサポート費用（業務委託料）及びビザ取得費用が発生します。また、1 年次 1 月以降、万一人のやむを得ない事情により SA 参加を辞退する場合、または教授会により SA プログラムの取り止めが決定した場合、現地機関の規程によるキャンセル料に加え、返金にかかる手数料、それに伴う為替差損などが発生することがあります。航空券についても早い段階からキャンセル料が発生するケースがあります。これらのキャンセルにかかる費用は、各自の負担となります。



【4】 応募時期・選抜方法

SELECTION

例年、1年次春学期に説明会を行い応募期間を設けます。原則として1年次春学期の成績（GPA・TOEIC®-IP試験の結果等）を中心に選抜を行います。



【5】 SA 留学先大学の決定について

ANNOUNCEMENT OF APPLICATION RESULTS

留学先大学の受け入れ人数に制限があるため、以下の方法により、留学先を決定します。

- (1) 留学先大学についての希望順位を登録します。その希望を尊重したうえで成績を参考にし、法政大学が留学先を調整します。
- (2) (1) の成績とは、1年次春学期の成績（GPA・単位修得状況等）及び入学前（3月）のオンラインTOEIC®-IP試験の結果とします。
- (3) 人数の調整が行われた結果、費用の高い大学に振り分けられる場合がありますが、ご了承願います。

なお、希望登録から決定までのスケジュールは、【2】SAスケジュールに記した通りです。また、一度決定した留学先の変更は理由の如何を問わず一切できません。

SA留学中に、生活面・留学態度において、学生の本分を逸脱する行為があった時は本人より状況を確認したうえで、SA留学を中止し、強制帰国となる可能性があります。その際、留学費用の返還は一切行いません。



【6】 外国語能力検定について

TOEIC®-IP

SA参加者は、留学前と留学後にTOEIC®-IPの受験が義務付けられています。



【7】 渡航（出国・帰国）について

FLIGHT TICKETS

渡航のための航空券は、法政大学が旅行代理店を通じて用意します。





【8】各留学先の紹介

INTRODUCTION OF EACH STUDY ABROAD



【アメリカ】 UNIVERSITY OF CALIFORNIA, DAVIS

フロンティア精神の地・西海岸でアメリカを体感

住 所：1333 Research Park Drive, Davis, CA 95618 U.S.A

W e b：http://www.ucdavis.edu/



① 受け入れ機関

カリフォルニア大学デイビス校
(UC Davis Division of Continuing and
Professional Education-International)

② 大学および周辺の紹介

カリフォルニア大学群のひとつとして 1905 年に開校されました。当初は農学部のみでしたが、年々拡大の一途を辿り、大規模大学へと変身を遂げました。今日でも農学の分野は全米でも高い評価を得ています。また、エスニック研究も盛んで、デイビス校の大きな魅力のひとつとなっています。キャンパスも非常に広大で教室間の移動には自転車を利用する学生が多く、スケールの大きいキャンパスライフを楽しめます。

デイビス市はサンフランシスコから約 100 キロ北東の位置にあり、人口は約 5 万人、フレンドリーで気さくな治安の良い大学の町です。町中には自転車専用道路が数多くあり、キャンパス以外でも自転車は最も便利な交通手段です。地中海性の温暖な気候のため、外国人留学生にも人気のある町です。

③ 特色

15 週間を通して Academic Engagement Track (AET) of Destination Davis Program (DD) を受講します。AET では語学授業とその他講義授業を並行して行います。語学授業については、渡米前にプレースメントテストを受け、語学レベル別に受講をします。その他講義授業では、グローバルビジネスやビジネスコミュニケーション、アメリカ文化などについて学びます。ゲストスピーカーを招いての講義やディスカッション授業、課外活動 (Service Learning) などプログラムの一環として設けられています。

④ 留学期間

3 月下旬～7 月下旬 (予定)

⑤ 宿泊施設

ホームステイ

⑥ 参加費用

P.6 参照



【時間割】 Academic Engagement Track (AET) Sample Schedule

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9:00-9:50	Academic Success Series	Academic Literacy Series	Academic Success Series	Academic Literacy Series	Weekly Lecture Series
10:00-10:50					Weekly Lecture Series
11:00-11:50	US Society & Culture	Hot Topics in Global Business	US Society & Culture	Hot Topics in Global Business	Follow-up Discussion
13:00-13:50					Follow-up Discussion
14:00-14:50	Conversation Club		Conversation Club		Experiential Learning
放課後	ILC Writing Center, Model UN Meeting, JASS Meeting など				

※上記はあくまで時間割の一例です。

後輩へのメッセージ▶▶ SA18 期生 村上 遼平

私は、SA プログラムを通じて、英語力の向上はもちろんのこと、海外で生活することでしか学ぶことのできない大変貴重な経験をしたと感じています。毎日が新鮮なことだらけで、忙しいながらも大変充実した留學生活でした。そんな充実した留學生活を送ることができたのは、自分から行動し、様々なコミュニティに飛び込んでいったことが大きいと感じています。最初は、慣れない外国の大学で、英語でのコミュニケーションに対し緊張することや不安になることも多いと思いますが、自分からその一歩を踏み出すことで、現地の大学生も快く受け入れてくれるはず。自分自身も、アウトドアクラブに入り、多くの現地大学生とかがわったことで、飛躍的に英語力が向上し、アメリカの文化に慣れることができました。SA 留學を最大限生かすためにも、これから行く皆さんは自主的に行動してみたいかがでしょうか？素晴らしい留學生活が待ち受けているはず。ぜひ楽しんでください!!





【カナダ】 BROCK UNIVERSITY

雄大な自然の中での先進的な学び

住 所：500 Glenridge Avenue, St. Catharines, Ontario, Canada L2S 3A1

W e b：http://www.brocku.ca/



① 受け入れ機関

ブロック大学 (Brock University ESL Services)

② 大学および周辺の紹介

ブロック大学の名称は、イギリス陸軍の将軍であり、イギリスの植民地であったアッパー・カナダの統治者「アイザック・ブロック」にちなんでつけられています。大学の創立は1964年と比較的新しいですが、州立大学として地域の高等教育において大きな役割を果たしています。

オンタリオ州トロントとニューヨーク州パッサイクの間に位置するセントキャサリンズは、トロント市内へ車で約60分、世界的な観光名所として有名なナイアガラの滝まで車で30分ほどの距離にあります。ワインの里としても有名であり、カナダ唯一の温室産業の基地ということで美しい公園や沢山の温室があるため、ガーデンシティとも呼ばれています。またスキー場も近く、ゴルフコースも多いのでスポーツも楽しめます。大学は総合大学で、アスレチックセンターや図書館は地域の住民にも開放されています。

③ 特色

履修するコースは、カナダの大学進学希望者向けにプログラムされたもので、16週間（週25時間）にわたって学ぶものです。授業内容は、語学学習（スピーキング、リスニング、ライティング、リーディング、文法）を中心に学び、そのほかビジネス英語を2週間かけて学びます。また、企業訪問やゲストスピーカーによる講義もあります。

International Center主催のイベント（自由参加）も開催され、他の留学生との交流の場も多く用意されています。

④ 留学期間

4月中旬～8月下旬（予定）

⑤ 宿泊施設

ホームステイ

⑥ 参加費用

P.6 参照



【講義の例】 Hosei University Business English Program

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
10:00am - 2:00pm Registration, orientations, campus tour & student ID cards 12pm: Welcome Lunch in IC104	9:00am-12:00pm class 1:00pm-2:00pm Conversation Café "Get to Know Brock!"	9:00am-12:00pm class 1:00pm-2:00pm Company Visit: Tour of BioLINC Cairns Complex Cassie Price, BioLINC Coordinator	9:00am-12:00pm class 1:00pm-2:00pm Guest Speaker: Dan Lonergan, Co-op, Career & Experiential Education, Goodman School of Business	9:00am-12:00pm class 1:00pm-3:00pm Company Visit: Interactive Tour, Chocolate FX, St. David's, ON
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00am-12:00pm class 1:00pm-3:00pm Brock University Scavenger Hunt	9:00am-12:00pm class 1:00pm-2:30pm Hike or Recreational Activity	9:00am-12:00pm class 1:00pm-3:00pm Conversation Café Global Commons	9:00am-12:00pm class 1:00pm-3:00pm Company Visit: Tour of St. Catharines Enterprise Centre, 14 Ontario St., St. Catharines	9:00am-12:00pm class 12:00pm-2:00pm Closing Ceremony & Reception IC104

※上記はあくまで時間割の一例です。

先輩へのメッセージ SA18期生 吉田 葵

私は正直 SA プログラムに参加しようか迷っていた時期がありました。約4ヶ月半というとても短い留学。想像よりも他大学の日本人が沢山いました。沢山、理想と現実と悩みました。しかし、私は1ミリも行ったことに後悔せず充実した日々を過ごせたと言い切れます。私の場合、周りの環境に恵まれていて、毎晩のように遊んだ向かいに住んでいるカナダ人のおばあちゃんだったり、友達のリホストファミリーと仲良くなり、私のことをホストガールのように優しくしてくれたりしました。未だに近所のおばあちゃんからは毎週カナダからメールが届きます。そして、第2言語として英語を学びに来た友達との思い出は、留学をしないと味わえない特別なものです。互いの国を遊びに行くまでの仲にもなりました。必ず日本には学べないモノが入る留学であると思います。どのような4ヶ月半にするかは、すべて自分自身です。頑張ってください！





【イギリス】 THE UNIVERSITY OF SHEFFIELD

シェイクスピアの国で学ぶ正統英語

住所：78 Hoyle Street, Sheffield S3 7LG, United Kingdom

Web：http://www.shef.ac.uk/



① 受け入れ機関

シェフィールド大学
(English Language Teaching Centre (ELTC))

② 大学および周辺の紹介

シェフィールド大学はその歴史的伝統においても、また現在の学生数や施設の点においても英国で十指に入る名門大学です。同大学は1905年に地域貢献を目指して医学、工学などの高等教育機関が前身となって設立されました。現在は文学・社会科学・法律・建設・地学・工学・歯学などの学部、大学院からなる総合大学です。

また、シェフィールド大学のあるシェフィールド市はロンドンから約200キロ北西に位置し、人口は約70万人(全英で4番目)の都市です。かつての産業革命の発祥地で、鉄鋼・金属工業等の産業都市として発展してきました。市内は公園や森林に富み、郊外の美しい田園地帯の先には、18世紀初頭以来山岳風景で名高い、ピークディストリクト国立公園があり、環境の良いことでも有名です。

③ 特色

シェフィールド大学英語教育センター(ELTC)の英語科目の授業は受講生の実力に合わせてクラス編成で、各国からの留学生と一緒に学びます。時事的な教材等も使用し、Integrated Language Skills(読解、作文、スピーキング、リスニング)全般の訓練を受けます。

法政大学経済学部生のための独自カリキュラムでは、語学科目に加え、ビジネス英語を学びます。各科目を専門とする先生とコミュニケーションをとりながら進める授業になる予定ですので積極的に参加してください。

④ 留学期間

3月中旬～8月上旬(予定)

⑤ 宿泊施設

ホームステイ

⑥ 参加費用

P.6 参照



【講義の例】

前期	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
09.15-10.45 (both courses)	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
11.15-12.45 (both courses)	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
13.45-15.15 University English	Option Class *	Option Class *	Lecture-general topics (1.45-2.45)	Option Class	free
後期	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
09.15-10.45 (both courses)	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
11.15-12.45 (both courses)	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills	Integrated Language Skills
13.45-15.15 SEPO	Business English	Business English	Lecture-general topics (1.45-2.45)	Business English	free

※上記はあくまで時間割の一例です。

後輩へのメッセージ) SA18期生 杉谷 元希

私は、半年間におけるイギリスでの留学を経て英語力のみならず、自分の視野を想像以上に広げることが出来たと確信しています。留学中は、授業以外の時間を Meet up などの交流会に参加、またホストファミリーとの親睦を深めることに尽力することで英語力が飛躍しました。さらに、イギリス文化を知ることの出来るアクティビティにメンバー全員で参加し共に異国の文化に触れるなど大変貴重な体験をし、異国文化についての理解が深まり物事をより多角的に捉えられるようになりました。また、共に長期間異国の環境に身を置いた仲間がかけがえのない存在となり、約半年間イギリスで過ごす中で常にお互いを気遣い助け合いながら過ごした日々で出来た絆は強く、帰国後も交流する仲間になっています。本当に楽しい日々を過ごすことが出来ました。

これからSAへ行く皆さんへ、イギリスという素晴らしい伝統がある国で貴重な留学生活を楽しんで下さい。応援しています！





【9】ホームステイについて

HOMESTAY

ホームステイ先はホテルではありません。ホストファミリーの義務は「住居と食事を提供すること」であり、あなたをお客様として扱うことでも、あなたの語学の勉強の手伝いをするということでもありません。食事日本と比べてとてもシンプルな場合が多く、過度な期待は禁物です。風呂・シャワーの習慣も、日本と大きく違います。「お金を払っているんだから」という意識は捨て、理想と異なる部分も「異文化経験＝留学の醍醐味の一つ」と捉えましょう。

日本は、先進国の中でもトップレベルの生活インフラを備えています。清潔な水も温かいお湯も容易に手に入り、電気や Wi-Fi 通信で困ることもほとんどありません。食事の種類や味も多様な選択肢があり、安価です。治安水準も高く、同一の文化圏に属する住民が比較的多いため、文化的な摩擦も限られています。世界の国々では、先進国であっても、こういった快適な環境が整っているわけではありません。留学の目的は、ただ語学を学ぶことではありません。自分が今いる快適な生活圏を離れて、多様な生活環境の中で摩擦を経験し、その中で生き抜く力を学ぶ、という目的もあります。

事前の心構えをするうえで、ホームステイに関する情報を収集することも効果的です。

(参考例) Blossa 「ホームステイの理想と現実!? ホームステイを成功させる秘訣」

<http://blossa.org/blog/homestay-fantasy>



【10】サポート体制、問い合わせ先

INSURANCE & CONTACT INFORMATION

法政大学では SA に参加する学生全員に、大学が指定した海外旅行保険への加入を義務づけています。この海外旅行保険は SA 参加学生用に特別に設計されたもので、大学が一括して加入するため保険料が割安になります。また、保険内容に関しては、1 年次 12 月ガイダンス及び 2 月の最終ミーティングで説明します。

(1) 海外旅行保険

参加学生は、法政大学が指定する海外旅行保険に加入します。現地でのケガや病気のと看、あらかじめ指定された病院（キャッシュレス指定病院）で診療を受ければ、その場で自己負担することなく治療が受けられます。指定病院以外でも、領収書と診断書があれば、帰国後に一定の範囲内で保険金を受け取ることができます。ただし、保険対象の範囲は定められており、歯科治療は保険の対象外となります。詳しくは出発前の各種ガイダンスでお知らせします。

(2) 現地でのアクシデント対応

① 病気やケガの場合

現地で病気やケガをした際には、アシスタンスサービス（24 時間・日本語対応のフリーダイヤル）に直接電話すると、近くの病院を探してくれたり、適切なアドバイスを受けたりすることができます。

② トラブルの場合

留学中の困ったことや悩み事なども、アシスタンスサービス（24 時間・日本語対応のフリーダイヤル）が相談にのります。また、経済学部事務課 SA 担当も対応しますので、その場合はメールにてご連絡ください。

(3) 質問・相談窓口

経済学部事務課 SA 担当は、SA 応募から帰国後の諸手続きまでの各種サポート（事前指導、SA 奨学金申請、単位認定手続き、出発後の連絡内容伝達、課題連絡・提出や帰国後報告会の案内・実施等）を行います。SA に関して気になることがありましたら、経済学部窓口へお越しください。

なお、事務連絡はすべて Web 掲示板やメール、または SA ガイダンスの中で行いますのでご確認ください。



【11】 SA 以外の留学制度について

FOR MORE INFORMATION

経済学部ではここ数年、派遣留学や認定留学に行く学生が増えています。両制度において留学先大学での修得単位は、教授会で審議の上、経済学部の卒業所要単位として認定されます（経済学部は30単位が上限）。

また、グローバル教育センターでは、夏季休暇中と春季休暇中に、英語をはじめとした外国語の語学力の強化のため、2週間から4週間程度の短期語学研修（設置科目）を実施しています。学部の定めにより、受講者に対して単位が認定される場合がありますので、認定科目、認定単位数については経済学部の事務課窓口へご相談ください。

以下に紹介する制度の詳細については、法政大学グローバル教育センターにお問い合わせください。

（1）派遣留学制度について

3年次または4年次に、法政大学の海外協定大学へ半期または1年間の留学ができる制度です。また帰国後、留学先の大学で修得した単位は教授会で審議の上、本学の単位として認定されます。派遣留学生には、派遣先大学により70～100万円の奨学金が支給されるほか、留学先での授業料が全額免除されます。派遣留学生となるためには、グローバル教育センターで実施される選考試験に合格する必要があります。

（2）認定海外留学制度について

2年生以上の学生が留学先大学（学位授与権を有する正規の高等教育機関）を自分で探して、その大学から入学許可を得て本学に申請をし、学部の許可を得て留学する制度です。留学期間中の学籍は「留学」となり、留学期間（半期または1年間）は修業年限に含まれます。また帰国後、留学先の大学で修得した単位は教授会で審議の上、本学の単位として認定されます。

（3）グローバル教育センター設置科目について

① 短期語学研修

夏季休暇中と春季休暇中に、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語等の語学力の強化のため、2～4週間程度実施する短期語学研修制度です。語学レベル、GPAなどに関係なく留学が可能であり、個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っており、初心者でも上級者でも語学力の向上に活かすことができます。

② 国際ボランティア

夏季休暇中と春季休暇中の2週間程度、国際ワークキャンプに参加し、それぞれの現場で必要としている活動支援を通じて、国際協力に対する理解を深めます。世界中のボランティアと一緒に働くことで、文化や言語の壁を越えた理解を深めながら、コミュニケーション能力を養い、海外で活躍する素地を育みます。プログラムにより、派遣地域、派遣期間が異なります。

③ 国際インターンシップ

夏季休暇中と春季休暇中の1～4週間程度、海外企業やNGO団体でのインターンシップを通じて、グローバル環境での働き方や企業文化の違いを学びます。将来的には、グローバル企業への就職など学生のキャリア形成支援につなげることを目的としています。プログラムにより、派遣地域、派遣期間が異なります。

注意：①短期語学研修、②国際ボランティア、③国際インターンシップの単位認定は、プログラムに参加した次学期（夏季参加の場合には当該年度秋学期、春季参加の場合には次年度春学期）に行うこととなりますので、4年生の最終学期については、単位認定ができません。

発行 法政大学経済学部事務課
編集・印刷 榊栄文舎印刷所

自由を生き抜く実践知
Faculty of Economics

——— 問い合わせ先 ———

法政大学経済学部 Faculty of Economics

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 Tel.042-783-2505・3008

窓口時間▶**月**～**金** 9:00～11:30・12:30～17:00 **土** 9:00～12:00

※土曜日は SA 担当が不在の場合もあります